

全医労保育所ニュース



ピジョン受託終了通告から1年 これからも全医労に結集してがんばろう!



2016年12月4日ピジョン交渉

安心して引継ぐために
新たな委託先がほぼ決定してきている中で、今のところ、職員の雇用を引き継がないなどの最悪の事態は報告さ

れていません。しかし、「賃金・労働条件を明確にしない」「ピジョンより低い処遇」「変形労働制」など、業者が提示している労働条件は必ずしも現行の労働条件維持とは言えない状況も明らかになってきました。

保育所職員の不安が解消されなければ、4月以降働き続ける意思表示ができません。支部は、三者委員会を開くなど、保育所職員、保護者から丁寧な話を聞きながら雇用に関する不安等を施設に追及しましょう。「このままでは職員は安心して保育所で働けない」「職員が変われば安心して保育所に預けられない」と率直に訴え、施設から業者に働きかけをさせましょう。その結果を三者で共有しましょう。

一緒にがんばろう

ある保育所では、業者の素人同然の対応に保育所職員はあきれ果てており、雇用希望の

昨年11月28日に、ピジョンが2017年度限りで受託を終了すると通告してから1年が経ちました。この1年「保育の質」と「保育所職員の雇用・労働条件」を守るため、今こそ全医労に結集しようと呼びかけ、支部・地区・地方協・本部で連携してたたかってきました。

「組合があったから、がんばって来られた。」その思いに応える労働組合・全医労のたたかう姿勢は、今後も変わることはありません。これまでのでたかいたかきに確信をもって運動を進めていきましょう。

これまでのたたかいたかきに
確信をもって運動を進めよう



2016年12月26日機構本部交渉

有無を伝える最終面接の前に、支部は組合の考え方、今後のたたかい方を紹介する説明会開催をセッティングしていました。

支部執行委員である園長は業者のいい加減さに絶望して、多くの職員が辞めるのではないかと心配し、保育所職員に声かけを行いました。結果、退職予定者を除く全員の職員が業者に対し、雇用希望を申し出てくれました。支部では、保育所職員一人ひとりに「残る決意をしてくれてあり



2017年2月18日ピジョン交渉

がとう」「組合で要求していこう」というお手紙を作成。保護者にも現在の経過を知らせました。早速、保護者は説明会で業者に対し厳しい意見を述べ、4月以降も安心して保育所の先生方が働き続けられるよう訴えました。

支部では、引き続き業者のいい加減さを正し、保育所職員の不満、不安な気持ちを施設に訴えよう、保育所職員とともに新しい業者との団体交渉にのぞもうと意思統一しています。



2017年3月3日栃木医療センター「とちのみ保育園を守れ」座り込み行動

地方協保育所会議で
現在、各地方協では保育所会議が開催され、情報交換と運動の意思統一が図られています。ある会議では、保育所職員から「このまま全医労の組合員でいられるのか」との質問が

ありました。国時代からピジョン委託となつて13年。「委託業者がバラバラとなり、心細い」など、不安な気持ち語られました。しかし、ある園長先生から「今後の目標は未加入の園長を組合に

誘い、情報交換しながら、4月以降も同じ職員、同じ子どもと過ごせることだ」と発言があり、今後も組合に結集してがんばろうと気持ちを固め合うことができました。

これまでも全医労に結集することで、賃金・労働条件を改善し、私たちが情勢を切り拓いてきました。もちろん、委託業者が変わっても「全医労組合員」であり、一緒にたたかう仲間に変わりありません。

保育所・保護者・支部の三者が力を合わせて院内保育所を守り、改善させてきたことに自信をもって、今後も三者の連携をさらに強めていきましょう。



12/10(日)ピジョン交渉で現状を訴え、年度末まで雇用責任を果たさせよう!



12月10日(日)には、各地方協代表によるピジョン交渉が予定されています。

「職員の雇用確保」「新委託先への引き継ぎ」など、2018年3月の年度末までピジョンがしっかりと運営責任を果たすよう訴えます。

代表の皆さんは、地方協内の保育所の現状や処遇改善など訴えたいことをまとめ、事前に本部までお知らせください。

日程：12月10日(日) 11時打合せ
13時半～交渉 17時終了予定
会場：全医労会館 2階会議室